

相模

第540号
令和7年4月1日

www.samukawajinja.jp
S A G A M I





相模國 一之宮 寒川神社

一、御祭神

寒川比古命(さむかわひこのみこと)
寒川比女命(さむかわひめのみこと)

寒川神社は、寒川比古命・寒川比女命を奉祀申し上げ、二柱の御祭神を寒川大明神と奉称しています。

寒川大明神は、相模國を中心に広く関東地方を御開拓になられ、衣食住など人間生活の根源を開発・指導されました関東地方の親神様です。

一、御由緒

当社社の創建は古く、『惣國風土記』には雄略天皇(457～479年)の御代に奉幣があったと記されています。また、『寒川文書』には神龜4年(727年)社殿建立と伝えられ、『続日本後紀』には承和13年(846年)に神階從五位下を授けられたと記載されています。さらには醍醐天皇の御代に制定された延喜式においては、相模國唯一の名神大社と定められ、当社社は少なくとも約1600年の歴史を有する古社といえます。

特に古くから唯一の八方除の守護神として、地相・家相・方位・日柄厄年などに由来する災難をとり除き、福德開運をもたらし、日々の暮らしに限りない恩恵を与えて下さる御神徳は広大無辺です。

この八方除の御神徳は、全国各地より敬仰され寒川大明神を奉戴する崇敬者は年々増加し、篤い信仰を集めています。

一、御神域

神聖なる神嶽山(かみかみ)を背に境内は約1万5000坪となっており、緑豊かな樹木に囲まれています。神門、手水舎に続いて、平成9年10月に厳肅の中にも絢爛に輝く銅板葺、総木曾檜造りの御本殿のほか、幣殿、拝殿、翼殿、廻廊などが完成致しました。

また御本殿の奥庭「神嶽山神苑」は、御社殿御造営10年を記念致しまして、大規模に整備を行い、平成21年に開苑致しました。

 **Instagram 公式Instagram**
samukawa_jinja_official



神社の四季折々の様子などを発信しています。皆様のフォローをお願いします。また、個人で神社の写真アップされる際は「#寒川神社」をつけてください。
※御本殿内・授与所の撮影はご遠慮ください

 **YouTube 公式チャンネル**



祭事のほか、貴重な資料などを定期的に更新しています。今後も様々な行事の様子を発信していきますので、皆様のチャンネル登録をお願いします。

 **公式LINEアカウント**



祭事、行事の最新情報を発信しています。Instagram以外の情報もお送りしていきますので「友だち」登録をお願いします。

 **公式フェイスブック**



祭事、行事の最新情報を発信しています。公式Instagramとリンクしています。ご一緒にご登録をお願いします。

ご登録お待ちしております

祭典・行事のご案内を社報「相模」メルマガとしてお届けします。是非、ご登録ください。

❖メールは毎月1日に配信致します。
❖ホームページよりご登録ができます。
<https://samukawajinja.jp/mailmagazine/>



社報『相模』メルマガ

- 2 社務報告
- 4 節分祭福物協賛者芳名
- 5 令和6年度 顕彰式受彰者芳名
- 6 國府祭・水無月大祓式について
- 7 相模薪能のご案内・令和7年度 宮山総代のご紹介
- 8 平和祈念公演開催のご案内
- 9 青少年だより
- 10 相模の歌
- 11 寒川病院だより・人事
- 12 4月～6月 祭典・行事のご案内



人長舞

【表紙】
「彬姫櫻」

【題字】
神社本庁 総長
田中恆清



〈方徳資料館〉

【開苑期間】 3月上旬～12月13日まで
※毎週月曜日は休苑（祝祭日は開苑）

【開苑時間】 午前9時から午後4時まで
※午後3時30分 入苑受付終了

【施設】
・茶屋「和楽亭」
午前9時30分から午後3時30分まで
(午後3時 受付終了)
お抹茶とお菓子
(拝服料500円より思召し)
・方徳資料館



〈八氣の泉〉

かん たけ やま しん えん
神嶽山神苑

寒川大明神との御神縁をお深めください
※入苑は御祈祷を受けた方に限ります。



武佐弓祭



追儺祭



正月風景



「神歌」奉納



追儺祭 神事奉仕者



正月風景

寒川神社

社務報告

祭典・行事のご報告

1月

1日 八方除祭・元旦祈禱祭
歳旦祭・末社歳旦祭

2日 追儺祭

3日 元始祭

8日 武佐弓祭

20日 宮山職舎B5号
改築工事地鎮祭

2月

1日 月次祭(「神歌」奉納)
2日 節分祭

11日 紀元祭並顕彰奉告祭
寒川神社顕彰式

17日 祈年祭並田打舞神事

23日 天長祭

3月

2・4日 高座氏子総代会主催
第46回伊勢参宮旅行

20日 安藤由勝大人命
伊集院直彦大人命

他命等の慰霊祭

末社御祖神社

春季霊祭並合祀祭

宮山役員改選奉告祭

23日 宮山職舎B5号
改築工事前棟祭

26日 相模國式内社の會 巡拝会

毎月1日・20日
月次祭(元日は除く)

正月

令和7年乙巳歳1月1日午前0時、新年の幕明けを告げる大太鼓が境内に響き渡り、寒川大明神の御神威の発揚を祈る「八方除祭」、「元旦祈禱祭」が斎行されました。

本年は三が日が好天に恵まれたこともあり、参拝者数は約46万人(茅ヶ崎警察署発表)に上り、賑わいのある正月となりました。

また25回目を迎えました迎春ねぶたは「乙巳く弁財天と幸運の蛇」と題して、学問や芸道の神である弁財天と幸運を運ぶ2匹の蛇が氏子崇敬者を温かく見守り、様々な厄災から守り、良き道へと導いてくださるようにと祈願して制作されました。

本年におきましても、ご参拝の皆様が寒川大明神の八方除の御神徳を存分に受けられ、良き年となりますことをご祈念致します。

追儺祭

1月2日午後8時、境内の全ての明かりを消灯し年頭にあたり全ての邪気災厄を祓い除く追儺祭が、静寂に包まれた浄闇の中で斎行されました。

当神社の創祀の根源である「難波の小池」から汲んだ清前と呼ばれる御神水を境内2カ所で撒き、「宝物かぞえ」を唱詞し、境内全体を祓い清め、厄難の一掃を祈念致しました。

神事終了後、御神前に供えられた弓矢は魔除けのお守りとして参拝者に頒布されました。

武佐弓祭

人日節(七草)の翌日1月8日、悪疫を退散させ1年の吉凶を占う武佐弓祭が斎行されました。

古式的には「甲・乙・ム」の3字が変形して組み合わさった「鬼」が書かれており、神職2名によって「千早振る神の御前の武佐の悪魔を攘い国ぞ治むる」という神歌を唱え、交互



春分の日



天長祭



祈年祭並田打舞神事



彬姫櫻



天長祭記念講演



祈年祭並田打舞神事



5…弦切れの為、位置表示なし

令和7年武佐弓祭神事
占卜結果

6本中、1本目、3本目、6本目が的に当たった。特に1本目が的に中央近くに当たり、残りの2本は上部の端に当たった。2本目、4本目は外れ、5本目は弦が切れた。的の当たり具合から、令和7年の初頭と後半は景気が上向くように思われる。その時期以外の景気は思わしくないとされる。

※宮司より発表

日、皇室の御安泰を祈念する天長祭が厳粛に斎行されました。祭典では御神

天 長 祭

今上陛下の御誕生日である2月23

（祈年祭並田打舞神事についての詳細は本誌507号に掲載）

模倣した「田打舞神事」が御神前にて奉奏され、五穀豊穡が祈念されました。

（祈年祭並田打舞神事についての詳細は本誌507号に掲載）

2月17日、春の農耕開始を前に、その年の五穀豊穡と産業発展を祈る祈年祭が斎行されました。

伊勢の神宮をはじめ、全国各地の神社で斎行され、「としごいのまつり」とも呼ばれています。「とし」は稲のことを指し、「こい」は1年の農作物の豊かな稔りを祈念することを指します。

祈年祭並田打舞神事

に3度矢を放ち、的の当たり具合により1年の吉凶を占います。

神事終了後には、大的の両脇に付した麻が、古来より安産や建築のご利益があるとして、参拝者に授与されました。（本年の矢の当たり及び占卜結果は上記の通りです）

春 分 の 日

春分の日（3月20日）は、神社の基礎を築かれた先人の神職の慰霊祭と宮山在住の社人などを中心とした御祖講員の前にお祈りした末社御祖神社春季霊祭並合祀祭が執り行われ、先人先祖の御霊をお慰めし、日頃の感謝の念を捧げ奉られました。

また当日は、日の出と日の入りの位置を結んだ直線上に富士山・寒川神社・出雲大社などが並ぶ「御来光道」が現れる特別な日として、限定の御守『御来光守』を頒布し、多くの皆様が参拝されました。

●ご報告●

立春の前日の2月2日、午前11時・午後2時の2回、邪気災厄を祓う節分祭が斎行され、180名の年男女の方が御本殿において追儺板を打ち鳴らし、豆撒きを行い今年厄を祓いました。

また早朝からの悪天候により櫓からの豆撒きは行わず、くじ入りの福豆の配布を行い、福を求めて多くの参列者が集まりました。

尚、節分祭の斎行にあたり、83社より福物協賛を頂戴致しましたので併せてご報告を致します。

節分の日

節分は「立春」の前日を指し、昭和60年から令和2年まで30年以上、2月3日であり、節分の日が固定されているように理解されていましたが、暦のずれを調整することから立春の日が動くことに伴い、節分の日も動きます。

昭和59年は2月4日、令和3年は2月2日（明治30年以来、12年ぶり）令和3年以降、4年ごとに2月2日が節分の日になるとされています。その法則に伴い、本年は4年ぶりに2月2日となりました。

暦は国立天文台計算室が「暦要綱」を発表することで決定されています。

◆節分祭へのご参列◆
年男女女の方に限らず、どなたでもご参加できます。例年、12月中旬より受付を開始致します。※初穂料（1万円）

令和7年 節分祭



福豆



追儺板を打ち鳴らします



参列者の豆撒き



宮司祝詞奏上



年男・年女の参列



福豆の配布

令和7年 節分祭 福物協賛者芳名 (順不同・敬称略)

- (株)青葉
- (株)秋江
- (株)阿部
- (有)青木商事
- 秋山商事(株)厚木支店
- 青山大寿司
- (有)飯田材木店
- イベント商組合
- 入澤 一三
- エバラ食品工業(株)
- (株)オーカワ
- 大塚 文彦
- (株)金子建材土木
- (有)カネヤ商会
- 神奈川東和薬品(株)
- 神奈川電設(株)
- (株)北岡本店
- (有)協和クリーニング
- 北村工務店
- キリンビバレッジ(株)湘南工場
- (株)ギンビス湘南営業所
- ギンビス商事(株)
- 熊澤酒造(株)
- 高南運送事業協同組合
- (株)晃和ディスプレイ
- コムロテンキ寒川
- 光生(有)
- (株)さんこうどう
- (有)さがみや
- (有)寒川建材
- 寒川神社商工奉賛会
- 寒川町商工会
- 寒川町観光協会
- 寒川ローテニスクラブ
- (株)サンエーサンクス
- (株)サンユ
- (株)三昭運輸
- (有)三昭興業
- (株)三昭ツーリスト
- 湘南信用金庫寒川支店
- (株)湘南ビューティブライダル
- 敷島製パン(株)パスコ湘南工場
- ジャパソルト(株)栃木支店
- 鈴木徽章工芸(株)
- 鈴信運送(株)
- 総合警備保障(株)湘南支社
- (株)空晴
- (有)田中写真
- 高橋竹材店
- (株)竹中工務店横浜支店
- (株)竹中工務店寒川神社作業所
- 大黒屋
- (株)テック企画
- 東映通信工業(株)
- 戸塚米店
- 長嶋園
- 中島 啓介
- 日本プレス工業(株)
- (有)破魔矢奉製所
- (株)長谷川製作所
- ハタノ木材(株)
- 原繁商店
- 原田総合保険事務所
- (有)古山看板塗装
- 福岡園
- (有)ほりむら薬品
- 豊月堂
- (株)丸井紙店
- 松井建設(株)
- 前田 隆一
- 松本 學
- 皆川 欽一
- 三菱電機(株)神奈川支社
- (株)湊
- 落雁 諸江屋
- 百崎製菓(株)
- (株)結商會
- 横浜貨物総合(株)
- (株)横浜銀行寒川支店
- ヨシカワ商店
- (株)横浜銀行茅ヶ崎支店
- ルッカ
- (株)レンブランドホテルマネジメント

皇紀二六八五年 令和六年度

寒川神社

顕彰式 受彰者芳名

【寒川神社顕彰式】

昭和50年より紀元祭を奉祝すると共に当神社に対して永年に亘り、功績を残され、功労がありました氏子崇敬者を顕彰してまいります。



功勞表彰

受彰者 1名 (敬称略)

■ 永年に亘り責任役員をはじめ幾多の役職を歴任し、神社の維持運営に貢献された

前田 隆一

感謝状

受彰者 12名 (敬称略)

■ 氏子総代として多年に亘り寒川神社の運営に協力された

小島 正春

谷 島 俊郎

土 方 達雄

■ 元旦祈禱世話人として多年に亘り献身奉仕された

見 上 雅宏

■ 多年に亘り寒川神社節分祭に福物を奉献された

(株)ギンビス湘南営業所

ギンビス商事(株)

■ 多年に亘り神社御用業者として協力された

大倉書藝 大倉眞澄

■ 多年に亘り月次祭に参列され御神徳の宣揚に寄与された

大 内 孝 栄

■ 多年に亘り参拝を重ね御神徳の宣揚に寄与された

浮ヶ谷 忠 大

■ 迎春なぶたに多年に亘り真心を以て協力された

田 中 雄 二

阿 部 和 彦

■ 多年に亘り(株)青葉職員として当神社の維持運営に協力された

上 田 悦 子

職員年功表彰

受彰者 10名 (敬称略)

■ 寒川神社権禰宜

長谷川 潤 …… 勤続33年

■ 寒川神社祭祀職員

井出 貴史 …… 勤続32年

■ 寒川神社権禰宜

高 島 弘 …… 勤続21年

■ 寒川神社権禰宜

松橋 嶺行 …… 勤続12年

■ 寒川神社権禰宜

香田 俊介 …… 勤続12年

■ 寒川神社主事

大山 みなみ …… 勤続10年

■ 寒川神社非常勤職員

星 順子 …… 勤続12年

■ 寒川病院看護師

布施 麗子 …… 勤続13年

■ 寒川病院看護補助者

木村 馨 …… 勤続12年

■ 神恵苑介護福祉士

安田 孝子 …… 勤続11年

國府祭は、「端午祭」「天下祭」とも呼ばれており中郡大磯町国府本郷において斎行されます。相模國一之宮寒川神社をはじめとして、二之宮川勾神社、三之宮比々多神社、四之宮前鳥神社、一國一社平塚八幡宮、総社である六所神社を加えた6社が祭場に参集して祭典が執り行われます。

本祭典は2つの神事から構成されており、神揃山で行われる古式「座問答」と大矢場祭場で行われる「神対面・国司奉幣・神裁許」の各儀です。「座問答」のみが注目されますが、両神事を合わせて「國府祭」といいます。一之宮争いを象徴とした論争と大宝律令以後、連綿と受け継がれている祭政一致の姿として、相模國の総社への参集こそが國府祭の本義とも言えます。



神輿の渡御

古式「座問答」

午前8時 発輿祭（寒川神社から神輿がでます）
 午前10時30分 神揃山祭 於神揃山（大磯町）
 正午 古式「座問答」 於神揃山（大磯町）
 午後3時40分 神対面の儀 於大矢場（大磯町）
 午後7時30分 還幸祭（寒川神社に神輿が戻ってきます）

※時間は前後することがございます
 詳細はホームページに告知致します

5月5日 國府祭

【國府祭 パネル展】のお知らせ

- ・ 4月20日(日)～5月10日(土)
- ・ 境内内庭西廻廊
- ・ 國府祭経路図、写真などを展示

大祓式は、古来より国家の神事として位置付けられており、疫病災厄を避ける神事として民間に広く浸透していき、現代へと伝えられてきました。当神社においても水無月大祓式並茅の輪神事として斎行されます。一般の方も茅の輪神事にご参加できます。当日は混雑が予想されますのでお時間に余裕をもってお越しください。（ご郵送でのご参加も可能ですので、下記までお問い合わせください）



大祓守
 【初穂料】1,000円

【お問合せ】寒川神社 大祓係
 電話：0467-75-0004 (代)
 FAX：0467-75-9595

※FAXでのお問合せの際は、住所、氏名、電話番号、人形の枚数を明記ください
 ※案内状は5月下旬に発送予定



6月30日(月) 午後2時 水無月大祓式並茅の輪神事のご案内

第五十六回 相模新能

相模新能は、終戦記念日の8月15日に、護国の英霊への慰霊と世界の恒久平和を祈念して、昭和45年より開催しています。日本の奥深い伝統芸能をお楽しみください。

※風水害による警報・天候等によっては中止になる場合がございます

〔日時〕 8月15日(金)

午後5時30分開演・午後8時終演予定

〔場所〕 境内特設能舞台

(雨天時 寒川町民センター)

【演目・演者】

半能 『井筒』 中森 貫太 ほか
 狂言 『宗八』 野村 萬斎 ほか
 能 『融』 観世 喜正 ほか

【受付開始】 7月1日以降の消印有効

※ 6/30以前の消印、記入漏れは無効

【規定人数】 500名(中学生以上)

※ 申込多数の際は抽選させていただきます場合があります

※ 8/1より順次鑑賞券をお送り致します

【申込方法】 往復はがきに①住所、②氏名、③年齢、④電話番号を楷書で明記して申込 ※1人1枚 ※鑑賞券の転売禁止

<p>〔往信面〕</p> <p>253-0195 神奈川県高座郡寒川町 寒川神社 相模新能係</p> <p>無地で お申し込みください。</p>	<p>〔返信面〕</p> <p>郵便番号 〇〇〇〇市 〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇様 (ご自身の住所・氏名)</p> <p>住所 氏名 年齢</p>
--	---

【申込先】 〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山3916

寒川神社 相模新能係

【お問合せ】 0467-75-0004(代)

※往復はがき以外の方法ではお申し込みはできません

撮影・政川慎治

令和7年度 宮山総代ご紹介



総代とは、宮山の氏子崇敬者の中より徳望の篤い方が選任されます。神社の祭事の協力者として積極的に関わり、祭典斎行において大きな役割を果たしています。地域の代表として総代の存在は神社の護持運営を円滑に行うための重要な存在です。例年、3月春分の日に宮山役員改選奉告祭を斎行して、新旧総代の交代を御神前において奉告しています。1年間のご奉仕を何卒宜しくお願い申し上げます。

総代長	金子 隆夫	副総代長	井出 一浩
雷	辻田 憲之	上合	金子 能久
下	金子 一也	中里(上)	村崎 修
根岸(上)	森井 尚志	中里(下)	宮崎 誠
根岸(中)	永田 清次	中里(河原)	古河 宗彦
根岸(下)	藤田 勝	中里(サザン)	中村 亨司
オリーブの丘	坂口 紗織	馬場	原 康人
旭(東)	滝沢 博	宮山南	佐原 數彦
旭(西)	高橋 健司		(敬称略)



相模國一の宮

寒川神社

終戦80年

平和祈念公演

令和7年8月10日(日)

午後5時開場 午後7時40分終演予定

寒川町民センター
〔出演〕伊藤多喜雄、焔太鼓

入場無料



伊藤多喜雄(いとう たきお)

札幌のよさこいソーラン祭りはもとより、今や世界中で踊られている「3年B組金八先生」で知られた南中ソーラン「TAKIOのソーラン節」の生みの親。NHK「紅白歌合戦(平成元年、平成15年)」に出場し、その声の魅力をNHK「チコちゃんに叱られる」でも取り上げられ『ミスター整数倍音』と呼ばれる。北海道観光大使として上海万博、ミラノ万博に出演し、ジャパンベトナムフェスティバルでは作詞、作曲した盆踊り唄が親しまれ毎年踊られている。

稚内市より特別感謝状授与、また(公財)日本民謡協会文化賞、川崎市の文化賞受賞、市民文化大使として地域の活性化を図るために活動している。

《開催趣旨》

令和7年は大東亜戦争の終戦より80年という節目の年となり、当神社では現在の平和への感謝と共に日本の在り方を考える機会にしたいと考えています。8月10日の午前中、寒川神社と寒川町教会による合同祭典、式典を行い、夕刻より平和への感謝を込めて「平和祈念公演」を行います。

《申込内容》

- 令和7年7月12日(土) 午前9時より
寒川神社社務所にて**先着350枚**を配布します
- 1人2枚まで**(中学生以上)、転売不可
- 電話及び往復ハガキでの申し込みは出来ません



焔太鼓(ほのおだいこ)

昭和61年結成。結成当初から海外の舞台に進出し、女性のみによる編成ながらダイナミックなフォーメーションを特徴とし、女流太鼓チームとしては特異な構成で注目を集めている。女性ならではのしなやかな表現と、北陸特有の伝統あるリズムの復活に努め、日々、研鑽を重ねる。また、太鼓教室の指導などを通して、次世代へ太鼓の魅力を繋ぐ活動も行っている。(一般財団法人浅野太鼓文化研究所 所属)

公演に関する
お問合せ

寒川神社 教学部教化宣布課

☎0467-75-0004 午前8時30分～午後5時

※詳しくは神社ホームページをご覧ください

青少年だより 寒川神社少年館

令和7年の3学期が始まった少年館では、書道講座において恒例の書初めと心の教育において百人一首大会といった新年にふさわしい講座が行われました。書初めで使われた半紙は普通の講座で使っている半紙よりも大きく、バランスを取るのが難しそうでしたが、立派な作品が出来上がりました。百人一首大会では、高学年と低学年のグループに分かれて行われました。昨年の10月から練習を始め、初めて参加する1年生も札を取ることができました。熱心な館生は参考書を読んだり、家でも練習したりと真剣に取り組み、優勝や入賞を果たしていました。



3月16日(日)には卒館式が行われました。当日は季節外れの寒さに加えて風と雨の天候でしたが、終始、引き締まった雰囲気の中で講師、在館生に見守られて7名の卒館生が巣立ちました。中学生になっても元気に頑張ってください。



相模

第540号

BS 青少年だより ボーイスカウト 寒川第二団



ボーイスカウト寒川第二団は、1月19日に新年初集会を行いました。令和7年最初の活動として、本年の活動の安全を願い、団一同で参拝し団委員長からの新年の挨拶とベンチャースカウト3名への神道章授与、昨年の各隊出席優良者表彰、他団からの転団による入団式が行われました。また団委員長企画によるスカウトの特技披露や、御神前にお供えされていたお餅を使ったお汁粉、ベンチャー隊が作ったけんちん汁の振る舞いがあり、楽しい時間を過ごすことができました。

3月8日から9日にかけて、長野県諏訪市霧ヶ峰スキー場にて全隊合同スキー訓練を8年ぶりに実施しました。スカウト24名、団委員と各隊リーダー8名が参加し、スキーの経験の有無によってグループを分けて訓練を執り行いました。経験者は個々に滑るのではなく、ゲレンデの頂上から隊列を成して、安全に滑る訓練を行いました。滑走中、雪に足を取られて転んでしまった際にはすぐ救助を行うなど、楽しく滑るだけでなく、周囲の安全確認を行いながら滑ることができました。経験がないスカウト、リーダーはスキー板に慣れず苦戦していましたが、現地のインストラクターの指導を受けながら徐々に慣れていき、最終日にはゲレンデの頂上から滑って降りることができるほど上達しました。

各隊の垣根を超えたスキー訓練の他に、雪上でのセレモニーや雪が舞う中での各隊プログラム展開など、普段の活動では味わうことができない経験を積むことができました。

スカウト募集中! 小学1年生以上の男女

問合せ

寒川神社少年館内
ボーイスカウト事務局

Tel.0467-74-0551

相模の歌



寒川俳壇

聞き返すことの多かり冬ざるる
 萱沼 保幸

夜話や狸寝入りの猫もゐて
 加賀 莊介

人は皆何かを待てり冬木の芽
 金子 晴子

冬の日の釣師の占める防波堤
 伊藤 公一

あの日から母は幼な子春の夢
 猿渡 弥生

寄りそつて歩く介護の毛糸帽
 倉谷 節子

言い訳の上手になりし日向ぼこ
 岩田美代子

椅子の背に母の形見のチャンチャンこ
 菅沼うめの

明けの春風紋光る由比が浜
 松本美智子

あと少しもう少しだけ炬燵出ぬ
 新井 泰春

新札のなじめぬ顔や春隣
 竹村真砂美

冬ざれや長患いの人が逝く
 須田 柚川

相模詠草

フラダンス八十路すぎでの挑戦を運動不足認知予防に
 稲垣 武子

まさか我八十路中ばを過ぎしまで続けられると思わぬテニス
 亀山 文子

手の甲の皴とよは八十路の歴史かな過ぎし日々をしみじみ思う
 小林 篤子

雨戸ひく令和七年の初日の出穏やかなりし平和なる朝
 徳江 道子

嫁ぐ娘と縁に並べる母の背のまろき優しさ少しさびし気
 清水 洋一

あかあかと令和七年初日の出幸せ運ぶ澄みたる光
 土屋トミ子

理容店鏡にうつる自顔みて髪型問われ思案迷途
 二宮 昭雄

太き枝切り落とされし蝟梅うばいの細枝に咲ける花愛おし
 宮治友美枝

青々と澄み渡る冬空にさざ波の様な雲の流るる
 山根喜美代

いとほそきほそき月浮く天空のただしんと静謐せいひつなれる
 杉本 照世

平安の昔偲びつ咲競うしだれ桜の花蔭を行く
 瀧本三重子

【寒川俳壇】

・昭和24年に誕生。(大正時代から不定期に開かれていた)
 ・月例会を月4回開き総互選をし、選句技術の向上と俳句の普及に努めている。当神社の例祭神賑行事にも献句として奉納。

寒川俳壇では現在、会員を募集しております。月に数回、会を催しておりますので、詳しくは教学部 教化宣布課までお問い合わせください。

【相模詠草】

・野ばら文化会(前身 婦人会学習クラブ「ふだん着の詩歌くらぶ」として昭和34年に誕生)による詠草。公民館まつり・短歌大会等に参加するなど積極的に活動している。
 ・昭和50年、本誌に初めて「献詠歌」として掲載。昭和53年に相模詠草と改称、以来現在に至るまで、生活の中での一瞬を美しい言葉で切り取った詩歌を継続的に投稿いただいている。

寒川俳壇

「年間最優秀句」に

関するお知らせ

本誌『相模』に俳句を献じていただいております寒川俳壇の本年度の最優秀句「一之宮賞」は、現在、選考中です。次号以降に改めてご報告致します。

※一之宮賞

寒川俳壇の昭和46年度総会より当神社宮司により選句され、「一之宮賞」としてその年の中で最も優れた句を表彰しています



▲現在、年間の句より選考中です

病院だより

- 当院では患者様に安心して受診していただくために発熱外来を行っております。
- 発熱・咳・痰・倦怠感などのある患者さんは一般外来と別の場所で診療致します。
- 院内感染防止の為に、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	1診 神山宜也 2診 相原康之 3診	岡本享子	神山宜也 井内卓次郎	神田茂孝 黒田俊也	栗田啓司 鳴海裕之	栗田啓司 1,3,5週 鳴海裕之 2週 神山宜也 1,3,5週 井内卓次郎 2,4週 干場泰成 2,4週
	午後	1診 栗田啓司 2診 干場泰成	井内卓次郎	干場泰成	黒田俊也 1,3,5週 栗田啓司 2,4週	茂木雄一郎	
神経内科	午後		栗田啓司				
呼吸器内科	午後			後田美香		服部賢明	
糖尿病内科	午前	小林貴子	丸山真弓	丸山真弓	奥野由莉子	丸山真弓	小林貴子 1,3週
	午後	井内卓次郎					
循環器内科	午前		干場泰成				
	午後				中村則人	神山宜也	
外科	午前	1診 木勢佳史 2診 3診	松本幹大	徳田裕(乳腺) 鍋島一仁	茅野新 石過孝文 岡村卓穂(乳腺/再診)	木勢佳史	石過孝文 1,3,5週 木勢佳史 2,4週
	午後	1診 石過孝文 2診	松本幹大	徳田裕(乳腺) 鍋島一仁	休診 岡村卓穂(乳腺)	木勢佳史	
脳神経外科	午後					富永二郎 1,3,5週 後藤忠輝 2週 勝野亮 4週	
皮膚科	午後	猪股知微		千葉裕奈子	濱崎慎平		
泌尿器科	午前		高橋薫平				
	午後				西川大智		
整形外科	午前	1診 三谷玄弥 2診 谷口文則 3診 藤本泰毅	新福栄治(肩) 中村敏之 宇都宮啓(股関節)月2回	三谷玄弥(膝スポーツ) 塚田亜裕美 滝澤大智	新福栄治 谷口文則	小松研郎 神部智彦	担当医
	午後	1診 塚田亜裕美 2診 藤本泰毅	中村敏之	三村悠祐 1,3,5週 植草由伊 2,4週	浜橋恒介 1,3週	小松研郎	
					十河泰之		
眼科	午前	木勢由利子	木勢由利子	伊東尚子	保科真理	木勢由利子	竹下明宏 1週 宮尾洋輔 3週 木勢由利子 2,4週 5週 休診
	午後	渡邊信次郎	高田聡	猪ノ坂宗之	竹下明宏 1,2,3,5週 植渡亮平 4週	木勢由利子	
耳鼻咽喉科	午前	大上麻由里	休診	大上麻由里	大上麻由里	休診	大上麻由里 1,3,5週 休診 2,4週
	午後	大上麻由里	佐藤優里奈	大上麻由里	休診	小林直矢	
内視鏡	午前	石過孝文		新間淑雅	木勢佳史		木勢佳史 3週 石過孝文 4週
	午後	木勢佳史			茅野新		

相模

第540号

4月～6月

寒川神社

祭典・行事のご案内



年参講大祭



境内 桜の開花

第55回学齡児図画展

4月1日～15日

春から小学生となる町内の各幼稚園の園児の健やかな成長を祈念して、図画展を開催致します。



昭和祭

4月29日

昭和天皇の聖徳大業を景仰し、皇室の弥栄と国家の繁栄を祈ります。



第57回寒川神社宮司賞「神楽舞抜刀の瞬間」



第57回神社本庁統理賞「にこやかに直会」

出品に際してのご注意

- 写真作品の著作権は撮影者に帰属しますが、展示期間終了後、当神社の広報等の目的範囲内で、社報『相模』または他の媒体にて使用することがあります。この場合、使用にあたり撮影者に対して個別にご連絡は致しませんのでご承知お願います。
- 出品にあたり、被写体の肖像権・著作権には十分ご注意ください。人物を被写体とされている場合は、写真展出品の承諾を得た上で出品願います。当神社は、写真展応募にかかる肖像権・著作権等の諸問題についての一切の責任を負いかねます。
- 出品された作品は返却致しません。
- 作品出品時点で、上記内容をご承諾いただいたものと見なします。

4月 卯月

1日～15日 第55回学齢児図画展
 5日・6日 年参講大祭
 6日 午前10時 宮山年参講大祭
 並衛生祈禱祭
 29日 午前8時30分 昭和祭



國府祭 古式「座問答」

5月 皐月

5日 國府祭

➡國府祭 5月5日

大磯町に一之宮寒川神社、二之宮川勾神社、三之宮比々多神社、四之宮前鳥神社、平塚八幡宮の5社が参集し、国家安泰と五穀豊穡を祈願します。



6月 水無月

30日 午後2時 水無月大祓式
 並茅の輪神事

➡水無月大祓式 並茅の輪神事 6月30日

日常生活において、知らず知らずのうちに犯している罪や穢れを祓い清め清々しい生活を送るための神事です。



毎月1日・20日
 午前8時30分 月次祭

📷 第58回寒川神社写真展 ご案内

本写真展は明治改元100年記念事業の一環として昭和43年(1968年)より開催され、平成29年には第50回を迎えました。本年も下記内容にて写真展を開催致しますので、皆様の出品をお待ちしております。

募集要項

- 作品色・サイズ 白黒・カラー(6ツ切・4ツ切・A5・B5・A4・B4サイズ、ワイド可)
 ※つなぎ、合成・組写真は不可
 ※写真の現像は専門店での印刷を推奨致します
- 出品点数 1人：5点以内「寒川神社に関係のある祭典・風景写真」 ※未発表のもの
 ※ホームページにおいても出品写真を公開致しますので、データ媒体を持参ください
- 応募期間・方法 令和7年10月1日(水)～29日(水)まで ※出品表を必ず添付ください
 持参先：寒川神社社務所 午前8時30分から午後5時まで
 郵送先：〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山 3916 寒川神社 教学部 教化宣布課 写真展係
- 発表時期・方法 11月中旬に入選者のみハガキにて通知
- 作品展示 11月10日(月)～23日(日) 会場：寒川神社 境内廻廊
- 表彰式 11月23日(日) 午前10時 新嘗祭にご参列後、寒川神社参集殿にて開催予定
- 審査長 写真家 丹治俊雄氏
- 各賞 寒川神社宮司賞、金賞、銀賞、銅賞、特別協賛賞など ※出品者には参加賞あり
- 【問合せ】 〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山 3916
 寒川神社 教学部 教化宣布課 写真展係 電話 0467-75-0004

少年館こども俳句



たんぽぽが 白くなったら 空のたび

二宮 舞幸

上級生 背に風を受け 卒業す

佐野 陽斗

春や来る ぽつぽつぽつと うめの花

鈴木 陸斗

通学路 はしにたんぽぽ 一直線

青島こころ

鬼は去り 次は立春 ドアたたく

北野あやめ

春風や 若芽育む ゆりかごか

千野 雅秀

～木札のご紹介～

毎月1日の月次祭にご参列された方にお頒けする木札です。数に限りはありますが、授与所にて1体2,000円で頒布しております。



歓送迎会プラン

welcome Party Plan



お一人様	7,500円	8,500円	10,000円
	お料理・飲み放題・奉仕料・税金込		
形式	着席・ブッフェ		
お料理	洋・中	洋・中・洋中ミックス	和・洋・中・セレクト2種ミックス
お飲物	飲み放題	飲み放題	飲み放題+ワイン

【飲み放題メニュー】

- ビール ●焼酎(麦・芋) ●日本酒
- ウイスキー ●ソフトドリンク
- ノンアルコールビール

【特典】 完全予約制

- 地域限定 マイクロバス送迎サービス (15名~25名様)

※ご予約状況によりお受け出来ない場合もございます。



寒川神社 参集殿

様々なシーンでご利用いただけます

ご予約・お問合せ

0467-75-5555



編集後記

サッカー日本代表が早々に8大会連続でワールドカップ出場を決めました。多くの選手が欧州組という現実において、各クラブに「所属」している選手ではなく、「活躍」している選手が多くいるように感じます。どの国であろうとも、その人が活躍することが大切です。有名クラブに所属しながらも出番が回って来ない日々よりも、直向きに充実を求めていくことが人間らしいように思います。

それぞれの道を進む皆様へ、心からエールを送らせていただきます。益々のご活躍を祈念しています。

(俊)

祝祭日には国旗を掲げましょう



相模國一之宮



JR相模線「宮山駅」より徒歩5分、圏央道「寒川北インター」より1km

次号『相模541号』は令和7年7月1日に発行します



公式 Instagram



Youtube 公式チャンネル



公式LINE アカウント



寒川神社 ホームページ